

ぶん い み かんが ぶんぼうけいしき はんだん もんだい
文の意味を考え、それに合う文法形式を判断する問題です。

もんだい
問題のタイプは、

- ・ ぶん ないよう あ ぶんぼうけいしき えら もんだい れいだい
文の内容に合う文法形式を選ぶ問題【例題1】
- ・ ぶん ないよう あ つか かた えら もんだい れいだい
文の内容に合う方をしているものを選ぶ問題【例題2】

があります。例題を見てみましょう。

次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

【例題1】

どんなに^{むずか}難しいことでも、^{れんしゅう}練習している()上手になっていくものだ。

- 1 ばかり 2 ために 3 うちに 4 ように

【例題2】

^{しょくば}職場の近くにいい^{は いしや}歯医者はないかと探^{さが}していたところ、()。

- 1 林さんに聞いてみた 2 林さんが紹介してくれた
3 林さんなら知っているかもしれない 4 林さんが知っているそうだ

【例題1】では、()の前後のことがら(「練習している」と「上手になっていく」)の関係を考えます。「～ている」という状態を表す動詞の形につき、「～なっていく」という変化を表す文が後に来る文法形式であることが大切です。正しい答えは「3 うちに」です。

【例題2】の文法形式「～たところ」は、「～してみたら、ある結果になった」ことを表します。1度だけの過去の出来事について言う文です。正しい答えは「2 林さんが紹介してくれた」です。

このタイプの問題では、文法形式の意味機能や接続の形、文法的性質とともに、文の内容が

- ・ 未来の予測なのか、1度だけの過去の出来事なのか、または続いている状態なのか
- ・ 話し手の主観を述べているのか、ことがらを説明しているのか

などを考える必要があります。一つの文法形式ではなく、文法形式が組み合わさった形で出題されることがあります。

この部分については「実力養成編 第1部 文の文法1」で詳しく学習します。

ふくそう ごく なら か え ぶんぼうてき ただ い み とお ぶん つく もんだい よつ せんたくし
複数の語句を並べ替えて、文法的に正しく、意味の通る文を作る問題です。四つの選択肢のうち★の位置に当たるものがどれかを選びます(★の位置は、3番目以外のこともあります)。例題を見てみましょう。

次の文の★に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

【例題3】

今回は★調査します。

- 1 利用者の満足度 2 新しいサービス 3 について 4 に対する

【例題4】

新しいゲームを前の晩から★人の気持ちは、わたしにはわからない。

- 1 並んで 2 とする 3 買おう 4 まで

【例題3】では「～について」「～に対する」という文法形式を手がかりに、その前後にどんな言葉が来るかを考えます。「～について」の後には動詞が来るので、4番目とわかります。その前には名詞の1か2が来ます。一方「～に対する」は前後に名詞が来るので、2番目とわかります。1番目と3番目がどちらの名詞になるかは文の意味を考えて判断します。論理的な文は「今回は新しいサービスに対する利用者の満足度について調査します」なので、★に当たるのは、「1 利用者の満足度」です。

【例題4】で重要なのは「まで」の位置です。この形式の前には動詞の「て形」の1と辞書形の2のどちらも来る可能性があります。「とする」の前には動詞の「う・よう形」が来ます。ここで文の意味を考えると「新しいゲームを前の晩から並んでまで買おうとする人の気持ちは、わたしにはわからない」が適切なので、★に当たるのは、「3 買おう」です。

このように、このタイプの問題では「実力養成編 第1部 文の文法1」で学ぶ表現の意味機能はもちろん、

- ・ その文法形式につく品詞
- ・ 接続の形

などの知識が重要です。

この部分については「実力養成編 第2部 文の文法2」で詳しく学習します。

まとまった長さの文章の中で、その文脈に合う文法形式などを選ぶ問題です。

- ・文法的に正しい文にするにはどうすればいいかを文章の中で判断する問題
- ・文章としてのまとまりを持たせるにはどうすればいいかを判断する問題

があります。例題を見てみましょう。

【例題5】 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、**1** から **5** の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

よく、「自分が本当にやりたいことをみつけなければならない」と、あたかもそれが**1** 必ずみつかれるもののように語られ、プレッシャーを感じる人も多いと思いますが、私はそれがみつかれるかどうかは、極端にいて「運」しだいだと思います。だから、今現在、**2** からといって、焦ることも、自己嫌悪に陥ることもありません。

3、「運」しだいだからといって、みつけるための努力をしなくてよいということではありません。いろいろなことに興味をもち、やりたいことをみつけようと**4**、この場合、どこかに当たりクジがあることを信じて、あきらめずにクジを引き続けることに似ています。クジは引いたからといって必ず当たるわけではありませんが、引かないクジが当たることはない**5**。

(長岡靖仁「偶然のきっかけを生かして」『なぜ私はこの仕事を選んだのか』岩波ジュニア新書による)

- 1**
- | | |
|------------|-----------|
| 1 努力していないと | 2 努力しなければ |
| 3 努力したから | 4 努力すれば |
- 2**
- | | |
|------------|------------|
| 1 それがみつかった | 2 それがみつかった |
| 3 それをみつける | 4 それをみつけない |
- 3**
- | | | | |
|--------|------|------|--------|
| 1 そのため | 2 また | 3 ただ | 4 たとえば |
|--------|------|------|--------|
- 4**
- | | |
|-----------|-----------|
| 1 努力することは | 2 努力することで |
| 3 努力すれば | 4 努力して |
- 5**
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 ほどです | 2 ことです | 3 からです | 4 ところです |
|--------|--------|--------|---------|

【例題5】の**1**は、「自分が本当にやりたいことをみつけなければならない」という考え方と「**1**必ずみつかれる」という考え方が共通すると考えると、「4 努力すれば」が正しい答えになります。**2**は、他動詞と自動詞の選択が重要になる問題です。ここでは結果に注目するので自動詞「みつかれる」を使います。さらに「～からといって…」「～こともない」という文法形式を手がかりにして適切な内容を考えて、「2 それがみつかった」が正しい答えになります。**3**は、それ以前の部分との内容のつながりを考え、適切な接続表現を選ぶ問題です。前の段落の内容から想像されることを修正しているので、正しい答えは「3 ただ」です。**4**は文末との正しい対応を問う問題です。文末の「～に似ています」の主語が必要です。ですから「1 努力することは」が答えとなります。**5**はこの文が前の文(自分の考え)の理由を述べていると考えられるので、「3 からです」が答えになります。

この問題形式で問われる文脈における文法の使い方とは、例えば次のようなものです。

- ・ある表現と一緒に使われる表現がわかる

例 この薬を飲めば病気が治るかという、
 { 必ずしも治るとは限らない。
 × きっと治るに違いない。

- ・その文脈での条件に合う形式がわかる

例 もし実験に失敗したら、
 { そのとき
 × このとき } は別の方法を考えよう。

- ・その文脈での書き手の表現意図に合う形式がわかる

例 熱がある。しかし、今日の会議には
 { 出席しないわけにはいかない。
 × 出席するわけにはいかない。

- ・その文脈に合う視点を選ぶことができる

例 友人にこれは常識的な考えではないと注意された。
 { なるほどそうかと思った。
 × 友人がこれは常識的な考えではないと注意した。

- ・文と文のつながりを正しく判断することができる

例 あの人わたし母の弟だ。
 { つまり
 × それから } わたしのおじに当たる。

これらの項目については「実力養成編 第3部 文章の文法」で詳しく学習します。

実力養成編

だい ぶ ぶん ぶんぼう
第 1 部 文の文法 1

ぶんぼうけいしき い み ようほう し
文法形式の意味と用法を知することは、言いたいことを正確に伝える文
をつく き ほん
を作るための基本です。また、ある文章を読んで正確に理解するためには、
やく た
も役に立ちます。その文法形式を使って意味の通る文を作るためには、
い み ぶん ぶんぼうけいしき つか い み とお ぶん つく
意味だけでなく、どんな語、どんな活用形に結びつくのか、また、文を
つく
作るときにどんな規則を守らなければならないかなどについて学習する
ひつよう
必要があります。

- 〔復習〕 ・母は新聞を読むとき、眼鏡をかけます。
・窓を開けるとすぐに、涼しい風が入ってきた。

1 ~際(に)

⇒~とき 硬い言い方

- ①この整理券は、商品受け取りの際、必要です。
②こちらの会議室をご利用になる際は、受付で必要事項をご記入ください。
③アメリカの大統領は来日した際に、わたしたちの大学でスピーチを行った。

名-の・動 辞書形/た形 + 際(に)

- 主に行為や出来事を表す動詞(使う・完成するなど)・名詞(搭乗・外出など)につく。
公的な場面などで多く使い、日常の普通のことにはあまり使わない。

2 ~に際して・~にあたって

⇒~するとき 硬い言い方

- ①工事関係者は工事を始めるに際して、近所の住民にあいさつをして回った。
②当ショッピングサイトのご利用に際して、以下のご利用条件をよくお読みください。
③新しく事業を始めるにあたって、しっかりと準備をしようと思っております。
④お二人の門出にあたりまして、お祝いの言葉を申し上げます。
⑤日本で国際会議を開催するにあたり、関係各方面からの協力を得た。

名・動 辞書形 + に際して・にあたって

- その場1回だけの、意志的で特別な時を表す言葉(結婚・店を開くなど)につく。後には、主に行為を表す文が来る。「~にあたって」は、より積極的な行動を表す言葉につき、マイナスイメージの言葉(別れ・入院・倒産など)にはつかない。

3 ~たとたん(に)

⇒~したら、直後に意外なことが起こる。

- ①山の頂上でワインを一口飲んだとたんに、めまいがした。
②夫は結婚前は優しくかったが、結婚したとたんに、態度が変わった。
③国の母に電話をかけた。母の声を聞いたとたん、涙があふれてきた。
④僕が「さよなら」と言ったとたん、彼女は走って行ってしまった。

動 した形 + とたん(に)

- 瞬間的な動きや変化を表す動詞(立ち上がる・変わるなど)につく。後の文は意外性のある内容。話者の希望・意向を表す文(〜ようなど)や働きかけの文(〜ませんか・〜なさいなど)は来ない。

4 ~ (か) と思うと・~ (か) と思ったら

⇒~の後、すぐに続いて次の出来事や大きな変化が起こる。

- ①林さんは部屋に入ってきたかと思うと、いきなり窓を全部開けた。
②赤ちゃんは今泣いたかと思うと、もう笑っている。
③やっと部屋が片付いたかと思ったら、子供たちがすぐまた散らかした。
④このごろは気温の差が大きい。昨日は暑くなったかと思ったら、今日は涼しい。

動 した形 + (か) と思うと・(か) と思ったら

- 話者の行為については使わない。後の文は少し意外性のある内容。話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。

5 ~か~ないかのうちに

⇒~が終わると同時に、次のことが起こる。

- ①一郎はベッドに横になるかならないかのうちに、ぐっすり眠ってしまった。
②わたしは夜が明けたか明けないかのうちに家を出て、空港へ向かった。
③あの作家は今売れっ子だ。話題作を発表したかしないかのうちに、もう次の作品に取りかかっているそうだ。

動 辞書形/た形 + か+動 ない形 + かのうちに

- 瞬間的な動きや変化を表す動詞(着く・終わるなど)につく。後には、話者の意向を表す文や働きかけの文は来ない。「~(か) と思うと・~(か) と思ったら」より、「ほとんど同時に」という気持ちが強い。



1

1 () 際に、家の中で修理をするところがあるかどうか調べておく必要がある。

- a いい天気のこと b 大掃除のこと c 時間がある

2 () 際、音が出る電子辞書は大変便利です。

- a 発音が難しいこと b 発音がわからないこと c 発音を調べる

3 () 際は、こちらのテーブルをお使いいただけます。

- (a) お食事のこと b ご飯を食べること c お一人様の

4 () 際は、以下のことに注意してください。

- a 毎日学校へ行くこと b 寮での生活のこと c 健康診断を受ける

5 地震の際は、()。

- (a) 慌てずに行動しなければならないこと b 慌てちゃだめなこと c 慌てていない

2

1 父は()に際して、医者に行きいろいろ質問した。

- a 病気が回復すること b 手術を受けること c 毎日病院へ行く

2 研修旅行に際して、()。

- a 体調が良くなかったこと b 天候が気になりだったこと c 説明会が開かれた

3 ()にあたって、必要な書類を準備した。

- a 出勤すること b 留学すること c 図書館へ行く

4 新しいオフィスへの移転にあたりまして、()。

- a 気持ちも新しくなりましたこと b 非常にうれしいです

(c) 一言ごあいさつ申し上げます

3

1 ()とたん、眠くなった。

- (a) 勉強が終わったこと b 勉強をしたこと c 勉強をしていた

2 ()とたんに、気分が悪くなってしまった。

- a ゴールに向かっていたこと b ゴールに近くなったこと c ゴールインした

3 彼女はわたしの顔を見たとき、()。

- (a) 泣き出したこと b あいさつしたこと c うれしそうだった

4 電車が駅に着いたとき、()。

- a 友達に電話をしようこと b 乗客が大勢乗り込んできたこと

c 乗りかえのホームに行った

4

1 () 車から降りたかと思うと、海に向かって走り出した。

- a わたしはこと b わたしたちはこと c あの子は

2 さっきまで大雨が降っていたかと思うと、今は()。

- a 雨は弱くなったこと b 太陽が出ていること c 雨はさらに激しくなった

3 7時の時報が鳴ったかと思うと、()。

- a ニュースが始まること b 時計のベルも鳴っていたこと c 彼は突然立ち上がった

4 サッカーの試合が始まったかと思うと、テレビの前に()。

- (a) 人が大勢集まってきたこと b 集まろうよこと c 座っていいですか

5

1 弟は、やっと見つけた就職先なのに、()のうちに、もう辞めてしまった。

- a 仕事を覚えたか覚えなかったこと b 働いているかいないかこと c 友達がいるかいないか

2 あの学生は、試験が始まって()のうちに、教室を出ていった。

- a よく考えたか考えなかったこと b 10分たったかたたないかこと c 頑張ったか頑張らないか

3 雨がやんだかやまないかのうちに、()。

- (a) せみが鳴き出したこと b 試合を再開しようこと c 出発したい

4 森さんは部長の話が終わるか終わらないかのうちに、会議室の方へ()。

- a 走って行ってくださいこと b 走っていったこと c 走っていったほうがいい

1~5

1 一つの問題が()、すぐ次の問題を渡された。

- a 終わった際にこと b 終わるにあたってこと c 終わったかと思うと

2 やっと来たバスに()、忘れ物に気がついた。

- a 乗った際にこと b 乗るにあたってこと c 乗ったとき

3 テニスコートをお使いになる()、事務所でロッカーのかぎをお受け取りください。

- (a) 際はこと b にあたってこと c かならないかのうちに

4 選挙に()、大勢の方に協力を依頼した。

- (a) 出るにあたってこと b 出たとき c 出たかと思うと

2 課 ~している(進行中)

- 【復習】・今、新幹線の時間を調べているところだから、もうちょっと待つて。
・留守の間にだれか来たようだ。玄関に花が置いてある。

1 ~最中だ

⇒ちょうど~しているところだ。

- ①田中さんは今考えごとをしている最中だから、じゃましないほうがいい。
②浜辺でバーベキューをやっている最中に、急に雨が降り出した。
③スピーチの最中に、突然電気が消えた。

【名】-の・【動】ている形 +最中だ

- ⚠ 比較的短い時間内で行う動作を表す言葉(試験・書いているなど)につく。「~最中に」の後には、「それをじゃまするような予定外のことが起こった」という意味の文が来ることが多い。

2 ~うちに

A⇒時間の制限があつて、~でなくなった後では実現が難しいから、その前にしてしまう。

- ①家事は、子供が眠っているうちに、全部やってしまった。
②忘れないうちに、カレンダーにメモしておこう。
③足が丈夫なうちに、ヒマラヤ登山を計画したい。
④学生のうちに車の運転免許を取ろうと思っています。

【名】-の・【動】辞書形/ている/ない形・【イ形】い・【ナ形】な +うちに

- ⚠ 時間の幅のある言葉につく。後には、意志的な動作を表す動詞の文が来る。

B⇒~している間に変化が現れる。

- ⑤インターネットで調べているうちに、いろいろなことがわかってきた。
⑥この携帯電話は、長い間使っているうちに、もう自分の体の一部ようになった。
⑦知らないうちに、雨が降り始めていた。

【動】辞書形/ている形/ない形 +うちに

- ⚠ 時間の幅のある言葉につく。後には、意志の入らない文・変化を表す文が来る。

3 ~ばかりだ・~一方だ

⇒~という一方方向に変化が進んでいく。

- ①このごろは仕事が多くて残業が増えるばかりだ。

- ②東京の交通機関は複雑になるばかりで、わたしはよくわからなくなってきた。
③一度問題が起きてから、彼との人間関係は悪くなる一方だ。
④牛や豚の病気が広がる一方なので、国中の人が心配している。

【動】辞書形 +ばかりだ・一方だ

- ⚠ 変化を表す動詞(増える・悪くなるなど)につく。「~ばかりだ」は特に良くない方向に進んでいるという場合が多い。

4 ~(よ)うとしている

⇒~という変化が起こる少し前だ・もうすぐ~する。【硬い言い方】

- ①さあ、決勝戦が今、始まろうとしています。みんな緊張しています。
②駅前に30階建ての高級マンションが完成しようとしている。
③桜が満開になろうとしているとき、雪が降った。

【動】う・よう形 +としている

- ⚠ 瞬間的なことを表す動詞(始まる・幕が開くなど)につく。

5 ~つつある

⇒~という変化が進行中だ。【硬い言い方】

- ①次第に暖かくなりつつあります。春はもうすぐです。
②この会社は現在発展しつつあり、将来が期待される。
③明治時代の初め、日本は急速に近代化しつつあった。

【動】ます +つつある

- ⚠ 変化を表す動詞(暖かくなる・広がるなど)につく。

6 ~つつ

→14課-4

⇒~ながら、あることをする。【硬い言い方】

- ①この空き地をどうするかについては、住民と話し合いつつ、計画を立てていきたい。
②将来の仕事のこと、お金のことを考えつつ、進路を選ばなければならない。
③いろいろな体験を楽しみつつ、日本の生活に慣れていった。

【動】ます +つつ

- ⚠ 時間の幅のある行為を表す動詞(考えるなど)につく。「~つつ」の前後の文は同じ主語。

1

1 弟のことを家族で()最中に、本人が帰ってきた。

- a 話す b) 話している c 話して

2 ()最中に、何度も電話がかかってきた。

- a 日本に1年間留学している (b) 調べものをしてる c 会社に勤めている

3 ()最中に、水道が止まってしまった。

- (a) 洗濯の b 買い物の c 出張の

4 ホームパーティーの準備をしている最中に、()。

- (a) 地震があった b とても楽しかった c デザートも作った

5 面接を受けている最中に、()。

- a とても自信を持った b 面接官に褒められた

(c) 携帯電話が鳴ってしまった

2

1 アイスクリームが()うちに食べなければ……。

- a 溶ける b 溶けている (c) 溶けない

2 山道を()うちに汗が出てきた。

- a 歩いていた b 歩いた (c) 歩いている

3 ()うちに欲しい物を買っておこう。

- a お金がある b 給料をもらう (c) お金が残る

4 この料理、熱いうちに()。

- a おいしいですよ b 召し上がってください c いい香りがします

5 わたしはサッカーのルールがよくわからなかったんですが、テレビで試合を見ているうちに()。

- a とても楽しかったです b おもしろいと思いました (c) わかってきました

3

1 交通費は()一方だ。

- (a) 値上がりする b 値上がりしている c 値上がりした

2 これからは()一方だから、風邪を引かないようにね。

- a 寒い (b) 寒くなる c 寒さの

3 祖父は今年80歳。病気をしてから、体力が()ばかりです。

- a ある b つく (c) なくなる

4

1 わたしが牛小屋に入ったとき、牛の赤ちゃんが()としていた。

- a 生まれる b 生まれそう (c) 生まれよう

2 ()としています。

- a 間もなく夏が終わろう b 今日は雨が降ろう c 今年の冬は寒くなる

5

1 就職して3か月。仕事にも()つつある。

- (a) 慣れ b 慣れてい c 慣れるようになり

2 【手紙】わたしは()つつありますので、どうぞご安心ください。

- a 就職活動をし (b) 体力を取り戻し c 栄養のあるものを食べ

6

1 結婚式のことは彼女とよく相談しつつ、()。

- a 結局別れた (b) 決めていきたいと思う c やっと決まった

2 ()つつ、いろいろなことを思い出した。

- a ボートをこぎ b ソファに座り c 電車に乗り

3 ()たばこを吸わないでよ。

- a 歩いて b 歩きつつ (c) 歩きながら

1~6

1 わたしが生きている()、わたしの土地を売ってしまいたい。

- a 最中に (b) うちに c 間

2 野球の練習を()、体調が悪くなってしまった。

- (a) している最中に b しつつあるとき c しつつ

3 薬を飲んだが、症状はひどくなる()。

- a 最中だ (b) ばかりだ c ところだ

4 足のけがも()、今度の試合には出られると思う。

- a 良くなるばかりで (b) 良くなりつつ (c) 良くなりつつあるので

5 会議が()、リンさんが慌てて入ってきた。

- a 始まるうちに b 始まっている最中に (c) 始まろうとしているとき

6 飛行機は今()。

- (a) 飛び立とうとしています b 飛び立ちつつあります (c) 飛び立つ最中です

- [復習] ・白いコートを買った後で、わたしは後悔した。
・水泳を始めてから、その後ずっと体調がいい。

1 ～てはじめて

⇒～を経験した後や、～という状態になった後で、今までになかったことが起こる。

- ①実際に現地の様子を見てはじめて、今回の地震のひどさを知った。
- ②相手の話の途中で話を始めるくせがあると、人に言われてはじめて気がついた。
- ③山田先生の指導を受けてはじめて、生物の観察が面白いと思うようになった。
- ④チャンスがあつてはじめて、才能が生きてくるのではないだろうか。

【動】て形 +はじめて

⚠ 後には、「新しいことが起こる・気がつく・実現する」という意味の文が来る。

2 ～上(で)

→6課・[5]

⇒準備としてまず～してから、その後で次に続く行動をする。

- ①文書が保存されていることを確かめた上で、パソコンをシャットダウンしてください。
- ②経済的なことをよく考えた上で、進路を決める必要がある。
- ③自分一人では決められませんので、家族と相談した上で、お返事をいたします。
- ④この列車には特急券が必要です。あらかじめ特急券をお買い求めの上、ご乗車ください。

【動】た形 +上で

【名】-の +上(で)

⚠ 前後の文は同じ主語。後には、前の動作の結果から続く、意志的な行為を表す文が来る。名詞につく場合は④のように「～上」となることもあり、「～上で」よりも改まった言い方になる。「～てから」と同様、前後の行動が当然の順序で起こる場合は使わない。

3 ～次第

⇒～が実現した後、すぐに続けてある行動をする。【硬い言い方】

- ①詳しいことがわかり次第、ご連絡いたします。
- ②定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ③会場の準備ができ次第、ご案内いたします。もうしばらくお待ちください。

【動】ます +次第

⚠ 時間が来れば当然そうなるとうわかつていることが実現した瞬間を表す言葉につく。後には、話者の希望・意向を表す文や働きかけの文が来る。

4 ～て以来・～てこのかた

⇒～してから今まで、ずっと同じ状態が続いている。

- ①1年前にけがをして以来、体の調子がどうも良くない。
- ②あの山の写真を見て以来、いつかは登ってみたいとずっと思い続けてきた。
- ③子供が生まれて以来、外で酒を飲んでいない。
- ④日本から帰国してこのかた、毎日日本のことを思い出している。
- ⑤母がいなくなつてこのかた、母のことを考えない日はない。

【動】て形 +以来・このかた

⚠ 過去のある時点を表す言葉につくが、あまり近い過去からの期間には使わない。後には、「ずっと今まで続いている」という意味の文が来る。未来のことを言う文は来ない。

5 ～てからでないと・～てからでなければ

⇒～した後でなければ、あることが実現しない。

- ①この果物は赤くなつてからでないと、酸っぱくて食べられません。
- ②もっと情報を集めてからでないと、その話が本当かどうか判断できない。
- ③この電車は車内の清掃が済んでからでないと、ご乗車になれません。
- ④退院したばかりなんですから、十分に体力がついてからでなければ、運動は無理ですよ。

【動】て形 +からでないと・からでなければ

⚠ 後には、否定的な意味の文が来る。



1

- 1 ()はじめて、犬のかわいさがわかった。
 a 犬を飼って b 犬が小さくて c 犬がいなくて
 2 学校を卒業してはじめて、()。
 a 勉強の大切さを知った b 親から独立しよう c うれしかった
 3 営業の仕事を経験してはじめて、()。
 a とても大変だった b 働く厳しさがわかった c 会社をすぐ辞めた
 4 親になってはじめて、()。
 a 忙しかった b どうしたらいいかわからなかった c 子育ての難しさを感じた

2

- 1 この書類をよく読み、はんこを()上で、提出してください。
 a 押す b 押して c 押した
 2 一緒に料理を()食べませんか。
 a 作って b 作ってから c 作った上で
 3 この薬は、()上でお飲みください。
 a 食事が終わった b 医師が説明した c 説明書をよく読んだ
 4 いくらぐらいかかるか()上で、修理をお願いするかどうか決めます。
 a お知らせいただいた b お知らせくださった c お知らせしてあげた
 5 新幹線の切符は、ホテルの予約をした上で()。
 a 買うことができた b 買うことにした c 買えることになった

3

- 1 全員()次第、出発します。
 a 集まる b 集まり c 集まって
 2 ()次第、すぐお知らせください。
 a 事故が起こり b 体調が悪くなり c 現地からメールが届き
 3 ()次第、帰国して就職するつもりだ。
 a 入学試験に失敗し b 留学し c 留学期間が終わり
 4 資料は、読み終わり次第、受付に()。
 a お返しください b 返しました c 返していません
 5 会議が終わり次第、会議室の掃除を()。
 a しなくてもいいです b 始めます c しました

4

- 1 父は()以来、ずっと何か悩んでいるようだ。
 a 家に帰ってきて b 食事が終わって c 新しい職場に移って
 2 わたしはこの町に引っ越してきて以来、()。
 a 前に住んでいた町のスーパーには行っていない b 一度この町のスーパーに行った
 c しばらくこの町のスーパーには行かなかった
 3 兄がアメリカへ行ってこのかた、わたしが母の相談相手に()。
 a なるつもりだ b なっている c なるだろう

5

- 1 ()からでないと、新しい事業に取りかかれない。
 a 車の運転ができて b いいアイデアがあつて c お金の準備ができて
 2 この家を買うかどうかは、家族でよく話し合ってからでなければ()。
 a 1週間後にお返します b お返事を待ってください c お返事できません
 3 会長の山田さんが来てからでないと、()。
 a 寂しい感じがする b 話し合いが始められない c わたしが司会をする

1~5

- 1 家族と()、引っ越し先を決めようと思います。
 a 相談してはじめて b 相談した上で c 相談してからこのかた
 2 一度駅で()、彼の姿を見ていない。
 a 会って以来 b 会った上で c 会ってからでなければ
 3 マンションを買うときは実際に()、心配だ。
 a 見た上で b 見て以来 c 見てからでないと
 4 彼と()、彼の大切さに気づいた。
 a 別れてはじめて b 別れ次第 c 別れて以来
 5 この会議が()、作業を始めなければならない。
 a 終わってからでないと b 終わってはじめて c 終わり次第

4 課 範囲の始まりと終わり・その間

- 〔復習〕 ・今日は夕方から夜にかけて小雨が降るそうだ。
・スポーツ大会は今日で終わります。

1 ~をはじめ(として)

⇒~が代表例で、そのほかにもいろいろある。〔硬い言い方〕

- ①この体育館では水泳をはじめ、いろいろなスポーツが楽しめる。
- ②日本には「桃太郎」をはじめとして、おじいさん、おばあさんが出てくる昔話が多い。
- ③このあたりには、市役所をはじめとする市の公共の建物が多い。

名 +をはじめ(として)

名 +をはじめとする+名

- ⚠ いろいろある中の代表的なものを取り上げる。後には、その代表的なものを含めた複数のものを表す言葉が来る。

2 ~からして

⇒~という例一つを取ってもそうなのだから、全体的にももちろんそうだ。

- ①この旅行の計画には無理がある。出発時間からして早すぎる。
- ②わたしはどれも猫が苦手だ。あの光る目からして何となく怖い感じがする。
- ③わたしと夫とは似ているところが少ない。第一、食べ物好みからして正反対だ。
- ④さすがプロの選手は走り方からしてわたしたちとは違う。

名 +からして

- ⚠ 問題の本質や重要なポイントでないことを例として取り上げる。後には、マイナス評価の文が来ることが多い。

3 ~にわたって

⇒~の範囲全体にその状態が広がっている。

- ①連休の最終日、高速道路は20キロにわたって渋滞が続いた。
- ②彼はいろいろなジャンルにわたり、たくさん本を読んでいる。
- ③3日間にわたる研究発表大会が、無事終了しました。

名 +にわたって

名 +にわたる+名

- ⚠ 場所・時間・回数・範囲など、幅が大きいことを表す語につく。

4 ~を通じて・~を通して

A⇒~の期間ずっと同じ状態だ。

- ①この町には四季を通じて観光客が訪れる。
- ②在職期間を通して皆様には大変お世話になりました。
- ③この10年間を通し、彼はいつも新しいことに挑戦していた。

名 +を通じて・を通して

- ⚠ 比較的長い期間を表す語につく。後には、継続していることを表す文が来る。

B⇒~を手段にして、あることをする。

- ④今日では、インターネットを通じて世界中の情報が手に入る。
- ⑤わたしたちは、ボランティア活動を通していろいろな国の人たちと交流を深めている。

名 +を通じて・を通して

- ⚠ 直接的・具体的手段ではなく、間に入るものにつく。

5 ~限り

→5課-〔2〕

⇒~の範囲は全部あることをする・ある状態だ。

- ①環境を守るためにわたしもできる限りのことをしたい。
- ②君が知っている限りのことを全部わたしに話してほしい。
- ③あしたはいよいよ試合だ。力の限り頑張ろう。

名 -の・動 辞書形/ている形 +限り

- ⚠ 動詞につく場合は、ている形や可能動詞などにつくことが多い。

6 ~だけ

⇒~の範囲の限界まであることをする。

- ①ここにあるダンボールを、車に積めるだけ積んで持って帰ってください。
- ②父は働くだけ働いて、定年前に退職してしまった。
- ③今日は部長に言いたいだけの不満を全部言って、すっきりした。
- ④バイキング形式の食事ですから、好きなものを好きなだけ取ってお召し上がりください。

動 辞書形 +だけ

- ⚠ 可能動詞につくことが多い。瞬間的なことを表す動詞にはつかない。前後に同じ動詞を繰り返すことが多い。そのほか、「~たい・欲しい・好きな・必要な」などにもつく。



1

- 1 ()をはじめ、日本の大きい都市には外国からの観光客も多い。
 a 仙台 b 東京 c 名古屋
- 2 校長先生をはじめ、()には大変お世話になりました。
 a 学校の先生たち b 佐藤先生 c 事務室の人たち
- 3 オーストラリアではコアラをはじめ、()がいろいろ見られる。
 a 珍しい動物 b カンガルーなど c 多くの鳥

2

- 1 あのレストランは、()からしてわたしは好きになれなかった。
 a 料理 b 食器の色 c 味
- 2 君は選手になるのはまだ無理だなあ。ボールの投げ方からして()。
 a 練習が足りない b 練習をしっかりとやろう c 練習をやり直せ
- 3 息子は30歳にもなるのに話し方からして()。
 a おもしろい b 少しうまくなった c まだ子供っぽい
- 4 この服は()、色からしてどうもわたしには合いそうもない。
 a サイズもデザインも満足だが b 気に入っているのだが c デザインはもちろん

3

- 1 ()にわたってこの町には観光客が大勢来た。
 a 5月 b 5月の連休 c 1週間
- 2 ()にわたって花が多い。
 a うちの庭 b 駅前 c この県全体
- 3 日本全国にわたって()。
 a 富士山が一番高い b 数多くの国立公園がある c 四つの大きな島がある
- 4 うちでは親子2代にわたって()。
 a 魚屋をやっている b 魚屋を開いた c 魚屋を閉じた

4

- 1 この高齢者施設では、()を通じていろいろ楽しいイベントが行われる。
 a 四季 b 今年 c 3時間
- 2 ()を通じて、現地のコンサートの入場券を予約しておいた。
 a 英語 b 電話 c 旅行会社

3 リンさんはこの1年を通して()。

- a 一度も遅刻しなかった b 時々遅刻した c 一度だけ遅刻した

4 子供たちが書いた作文を通して()。

- a 授業計画を立てた b 子供社会の現状を知った c 非常に感動した

5

- 1 高山さんは、()限り自分の戦争体験を伝えていきたいと語った。
 a 命の b 命に c 命
- 2 わたしが()限りのことはもうみんな話した。後は自分で判断しなさい。
 a ニュースを見た b 知っている c カメラで撮った
- 3 映画が好きなので、時間とお金が()限り見に行っている。
 a 許す b 許せる c 許した

6

- 1 文房具が必要な場合は、この棚から()だけ取って使ってください。
 a 必要 b 必要だ c 必要な
- 2 両手に()だけのみかんをもらって帰った。
 a 持つ b 持てる c 持てた
- 3 家事はわたしがやっておくから、()だけ寝ていてもいいよ。
 a 疲れた b 好きな c 眠い

1~6

- 1 ご両親()家族の皆さんによろしくお伝えください。
 a をはじめ b からして c を通じて
- 2 彼は着ているもの()人とは違う。ちょっと変わった人だ。
 a をはじめ b にわたって c からして
- 3 全科目()彼は成績がいい。
 a をはじめ b にわたって c の限り
- 4 スミスさんは在日期间()環境保護キャンペーンに一生懸命だった。
 a をはじめとして b からして c を通して
- 5 考えられる()考えてみたんですが、いい案が出てきませんでした。
 a ことを通じて b ことにわたって c 限りのことは

5 課 ～だけ

〔復習〕 ・母にだけ本当のことを話した。

・わたしはテレビが好きではない。ニュース番組しか見ない。

1 ～に限り

⇒～だけは特別だ・例外だ。【硬い言い方】

- ①このちらしをご持参のお客様に限り、すべての商品を1割引でお買い求めいただけます。
- ②欠席理由が正当な場合に限り出席扱いにしますが、それ以外の欠席は認めません。
- ③この病院は午後6時までですが、急を要する患者さんに限り、時間外でも診察いたします。

【名】 +に限り

⚠ 公に説明するときの言い方。例外的に扱われるものを表す言葉につく。後には、その例外だけに適用されることを言う文が来る。ふつう、否定の文や働きかけの文は来ない。

2 ～限り(は)

→4課-〔5〕

⇒～の状態が続いている間だけは、同じ状態が続く。

- ①この町に住んでいる限り、いつでも新鮮な食べ物が手に入る。ここは野菜も魚も豊富だ。
- ②社長が考え方を変えない限りは、この会社は何も変わらないのではないか。
- ③足が丈夫な限り、まだまだ山登りが楽しめるだろう。
- ④親である限りは、子供に対する責任があると思う。

【普通形現在(ナ形) 差-な/-である・【名】 差-である) +限り(は)

⚠ 前にも後にも状態を表す言葉が来る。条件の意味を持つ文なので、後には過去の文は来ない。

3 ～限りでは

⇒情報源の範囲を～だけにすると、あることが言える。

- ①今回の調査の限りでは、書類にミスはなかった。
- ②ちょっと見た限りでは、こちらの商品とあちらの商品では違いがないと思うのですが、どうして値段が違うんですか。
- ③わたしが知っている限りでは、この近所に花屋はありません。

【名】-の・【動】辞書形/た形/ている形 +限りでは

⚠ 情報を得ることに関係のある言葉(見る・聞く・覚えている・知っている・調査など)につく。後には、ある判断や情報を表す文が来る。

4 ～に限って

A⇒～は普段と違って

- ①ふだん酒などあまり飲まない彼が、今日に限ってかなり飲んだ。何かあったのだろうか。
- ②わたしはいつもは駅前で買い物するのだが、その日に限って車で遠くのスーパーまで行った。
- ③どうしてあの日に限って別の道を通ろうと思ったのか、思い出せない。

【名】 +に限って

⚠ 後には、「いつもとは違う、特別だ」という意味の文が来る。

B⇒～のことが、ほかの運が悪いことと偶然重なる。

- ④庭の手入れをしようと思っている日に限って雨が降る。
- ⑤今日は大切な用事があったのに、こんな時に限って子供が熱を出してしまった。

【名】 +に限って

⚠ 後には、「良くない状況になる」という意味の文が来る。全体として話者の不満を表す。

C⇒特別に信じている～だから、悪いことはないはずだ。

- ⑥うちの子に限って友達をいじめることはないと思いますが……。とても優しい子なんですよ。
- ⑦あのレストランに限って古い食材など使うはずはないと思っていたのに……。

【名】 +に限って

⚠ 後には、「悪い状況にはならないはずだ」という意味の否定文を使って、話者の判断を言う。



1

- 1 商品の返品・交換は、()に限り、お受けしております。
a お買い求めの方 b 未使用の場合 c 当店のすべての商品
- 2 この遊園地では()に限り、入場料が無料になります。
a 第4日曜日 b 月曜日から土曜日 c 週末以外
- 3 お子様に限り、()。
a 子供料金は100円です b ここには入らないでください c プレゼントがあります
- 4 成人女性に限り、この会に()。
a 参加することができる b 参加した c 参加する
- 5 ここに車を止められるのは、許可をもらっている人()です。
a しか b だけ c に限り

2

- 1 あなたが彼に()限り、彼もあなたを許さないだろう。
a 謝る b 謝らない c 謝っていない
- 2 ()限りは、社会のルールに従うべきだ。
a 社会人である b 社会人になる c 社会人の
- 3 ()限り、出勤は無理だ。
a 熱が出た b 高熱が続く c 熱が38度になった
- 4 父がこの結婚を許してくれない限り、()。
a 父を説得してください b わたしは家を出るつもりだ c わたしは結婚できない
- 5 選手一人一人がチーム全体のことを考えて行動しない限り、このチームは()。
a 強くならない b 強くなる c 今度の試合で負ける

3

- 1 わたしが()限りでは、彼は日本に来てから5回引っ越した。
a 覚える b 覚えた c 覚えている
- 2 ()の限りでは、首相の支持率は1年前と変わっていない。
a ニュース b アンケート調査 c みんなの評判
- 3 ()限りでは、あの会社は今、アルバイトを募集していない。
a メールを書いた b メールで知らせた c インターネットで調べた

- 4 わたしが知っている限りでは、()。

- a この地方には温泉が3か所しかない b この地方の温泉を回ってみたい
- c この地方の温泉にわたしは1年に2度来る。

4

- 1 ()田中さんに限ってそんなミスをするはずがない。
a いつも明るい b よく忘れ物をする c 注意深い
- 2 水泳の練習は大好きだが、その日に限って()。
a 気が進まなかった b プールで泳いだ c 特別な練習をした
- 3 期待されていたあの選手に限って()なんて思っていなかった。
a 優勝する b こんな失敗をする c こんなに上手にできた
- 4 急いでいるときに限って()。
a バスがすぐ来る b バスもタクシーも来ない c タクシーに乗らないほうがいい
- 5 僕たちの先生は、どうしても見たいテレビ番組がある日に限って()。
a たくさん宿題を出す b たくさん宿題を出さない c 早く授業を終わらせる

1~4

- 1 ()、そんな名前のホテルはこの県にはないようだ。
a インターネットで検索した限りでは b インターネットでの検索に限り
- c インターネットでの検索に限って
- 2 サッカーの練習はグラウンドで行います。ただし、()、体育館を使います。
a 大雨の場合に限り b 大雨の限りでは c 大雨が降る限り
- 3 わたしに収入が()、寄付を続けるつもりだ。
a ある場合に限り b ある限りでは c ある限りは
- 4 わたしが歩いて()、この町には子供たちのための安全な遊び場がほとんどない。
a 調べた限りでは b 調べたことに限り c 調べたことに限って
- 5 ()、オートバイの事故なんか起こすはずはないと思っていたのに……。
a あの子に限り b あの子に限って c あの子の限りでは

つぎ ぶん ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1 今日暑くなりそうだ。朝の()、庭仕事をしてしまおう。

- 1 間に 2 うちに
3 最中に 4 ときに

2 家がぐらっと()、本箱が倒れた。

- 1 揺れるにあたって 2 揺れたかと思うと
3 揺れているうちに 4 揺れている最中に

3 このテキストは難しそうだ。漢字の多さ()大変そうだ。

- 1 からして 2 をはじめ
3 に限り 4 にわたって

4 リサイクルの店を()、いろいろな方面から話を聞いた。

- 1 開き次第 2 開きつつ
3 開くにあたって 4 開きながら

5 これからはどんどん日が短くなる()。

- 1 一方だ 2 ところだ
3 最中だ 4 しかない

6 あの子は5、6歩()転んでしまった。

- 1 歩いた上で 2 歩き次第
3 歩いた際 4 歩いたか歩かないかのうちに

7 母に()どうしても本当のことを言わないといけないと思う。

- 1 限り 2 ばかり
3 限って 4 だけは

8 部長のチェックを()、積極的に話を進めてもいいよ。

- 1 受けてからだ 2 受けてからなら
3 受けてからでない 4 受けてからでないなら

9 自分で家事を()、母の気持ちがわかった。

- 1 やってみはじめ 2 やってみてはじめて
3 やってみたとなん 4 やってみて以来

10 佐藤君、今やっている作業が()、山口君の方を手伝ってやってくれ。

- 1 終われば 2 終わった上で
3 終わり次第 4 終わったかと思えば

11 海の向こうに真っ赤な太陽が()。感動的な景色だった。

- 1 沈もうとしていた 2 沈むばかりだった
3 沈んでいた 4 沈む最中だった

12 なぜかあの日()車のエンジンがなかなかかからなかったんです。

- 1 限り 2 に限って
3 限りで 4 限りでは

13 2年()新しい道路の建設工事がやっと終わった。

- 1 にわたって 2 にわたる
3 を通して 4 を通す

14 今日の面接では、()のことはやった。後は運を天に任せよう。

- 1 やれるばかり 2 やれるところ
3 やれるだけ 4 やれる上

15 最近、失敗()しているので気分が晴れない。少し休暇を取ろう。

- 1 だけ 2 ばかり
3 に限って 4 の限りを